

びわのたてぼや症の防止に効果的な薬剤と散布時期

[要約] びわのたてぼや症はサンマイルト水和剤 2,000倍の満開期 1回の散布で防止できる。

| | | | | | | |
|---------------|----|------|----|-----|----|----|
| 長崎県果樹試験場・病害虫科 | 専門 | 作物虫害 | 対象 | 果樹類 | 分類 | 指導 |
|---------------|----|------|----|-----|----|----|

平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

施設びわで多発する「たてぼや症」を防除できる薬剤をびわに登録のある薬剤の中から選定する。

[成果の内容・特徴]

①サンマイルト水和剤 2,000倍を満開期に1回散布すると、たてぼや症の発生を防止できる。

[成果の活用面・留意点]

①開花前の散布では効果が低いので、満開期を中心とした時期に散布する。

②ミカンハダニとの同時防除剤として活用するのがよい。

[具体的データ]

表1 たてぼや症に対する薬剤の散布時期と防除効果

| 供試薬剤名 | 使用濃度 (倍) | 発生果率 (%) | | |
|---------|-------------|----------|-------|-------|
| | | 開花前処理 | 満開期処理 | 満開後処理 |
| サマイト水和剤 | 2,000 | 8.5 | 0 | 0 |
| 無 処 理 | | | 87.7 | |

[その他]

研究課題名：ピワ病虫害に対する効率的防除法の確立

予算区分：県単

研究期間：平成4年度（平成1～5年）

研究担当者：大久保宣雄

既発表論文等：平成4年度長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：なし